

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費

項：教育総務費

目：教育指導費

事業名 教育用パソコン整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育総務課ICT教育推進室 情報基盤係 電話番号：058-272-1111 (内8526)

E-mail：c17765@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

5,980 千円

(前年度予算額：)

6,805 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,805	0	0	0	0	0	0	0	6,805
要求額	5,980	0	0	0	0	0	0	0	5,980
決定額	5,980	0	0	0	0	0	0	0	5,980

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

教科「情報」の実習に必要なパソコン教室の機器および、センター型サーバーシステムを平成28年に更新したが、新しい学習指導要領に対応した教科「情報」の大学入試で求められるICT環境に関する詳細情報が公開されていないため、1年間の賃貸及び保守運用について、延長契約する。

サーバーシステムに含まれているADサーバ(生徒用ID管理サーバー)は、パソコン教室のパソコンや生徒一人一台タブレットに利用しているが、サーバーシステムは7年目の運用となり、故障する可能性が高く、故障時は即日復旧を見込めないため、学校間総合ネットワークデータセンター内のサーバーへシステム移転する。

(2) 事業内容

データセンターに集約したサーバー等機器の賃貸借及び保守運用を行う。

(契約期間：H29年4月～R5年3月)

サーバー等機器の賃貸借及び保守運用の契約延長を行う。

(契約期間：R5年4月～R6年3月)

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
使用料	2,680	サーバー等機器リース料 370 ソフトウェア延長使用料 2,310
業務委託	3,300	維持・保守料等 2,530 ADサーバー移転費用 770
合計	5,980	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次教育ビジョン

基本目標5「学びを支援する安全・安心な教育環境づくり」

(26)「ICTの環境整備と利活用の促進」

(2) 国・他県の状況

文科省高等学校施設整備指針（令和4年6月）では、「高機能化や他の学習空間との有機的な連携・分担を図りながら、個人やグループでの活動が可能な自由度の高い空間とすることが望ましい」「プログラム作成、情報に関する資料等の閲覧などのための空間を設けることが望ましい」です。

他県でも、一人一台タブレット導入により、今後のパソコン室の整備方針を検討している。

(3) 後年度の財政負担

現在、新しい学習指導要領に対応した大学入試で求められるICT環境を検討しており、方向性が決まるまでの期間の暫定的にリース・保守延長となる。

(4) 事業主体及びその妥当性

県立学校教育用コンピュータの整備担当課

- ・普通高校コンピュータ整備・・・教育総務課
- ・専門高校コンピュータ整備・・・学校支援課

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

普通科を有する高等学校40校の教科「情報」の実習に必要なパソコン教室の機器を平成28年度に整備し、データセンターに統合したサーバシステムの安定稼働を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	終期目標 (-)	達成率
						達成率
①教科「情報」用 パソコン室整備率	87.50%	100%	100%	100%	100%	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	各学校に設置されていたサーバをデータセンターに集約することで、授業を停止することなく稼働するシステムを構築して、各校のサーバ管理業務を極小化することにより、教員は利活用に専念できた。
令和 3 年度	各学校に設置されていたサーバをデータセンターに集約することで、授業を停止することなく稼働するシステムを構築して、各校のサーバ管理業務を極小化することにより、教員は利活用に専念できた。
指標① 目標：100% 実績：100% 達成率：100%	
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	教科「情報」が大学の入学試験に取り入れられる予定であり、プログラミング教育を含む情報教育の推進が期待されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	すべての県立高校(普通科設置校)に一律の情報教育の学習環境を提供することができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	サーバーを集約して管理を一元化したことで、教員は利活用に専念することができた。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 生徒一人一台タブレット導入に伴い、パソコン教室の今後の整備方針を検討する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 教科「情報」の大学入試制度を考慮しながら、必要性を検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--